

町民インタビュー

声楽家・合唱指導に大活躍

の けい こ
宇野 啓子 さん

【入方地区】

11月に大垣のスイトピアセンター音楽堂でリサイタルを開催されます。そこで、宇野さんにお話を聞きました。（7月5日）



聞き手／岩田 譲治
西松 幸子
小川 文雄
碓井 昭夫



宇野さんは「東安中学校の文化祭のPTAの会員と先生の合唱指導を20年間指導しています」と楽しげにインタビューにに応じていただきました。

——合唱指導を始められたきっかけは。

宇野さん 息子が中学生の時に私が広報委員をしました。その時に母親委員会から依頼がありました。他の委員の方と子ども達にメッセージ性のあるものを、何かできないかと考えて始めました。

3年前からは3学年の文化祭の合唱指導も始めました。昨年から賞があると気合も入るんじゃないかというところでコンクール制にしました。

——音楽とのかかわりは。

宇野さん 若い頃は幼児教育の仕事に携わっていましたが、40代で音楽の勉強がしたくて音大に入り、そして大学院で学びました。

——今はどのような活動をされているのですか。

宇野さん 名古屋二期会の会員で年に3、4回演奏会を開催しています。また、大垣の合唱団と大垣ギターマンドリンクラブの指導もしています。

——オペラが大好きな宇野さん、今までオペラの舞台はどんな演目をされたのですか。

宇野さん 「蝶々夫人」「カルメン」「天国と地獄」などです。

——バイタリティーあふ

れる宇野さん、特別な発声方法があるのですか。

宇野さん オークストラをバックに、マイクなしで歌うので、体を使わないといけません。大ホールになるとさらに大変です。今もレッスンに通って指導を受けています。

——今後の活動予定は。

宇野さん 来年は「源氏物語」をオペラにした「月の影」の舞台があり、9月から練習に入ります。

——行政に一言。

宇野さん 安八町がもっと元気になってほしいです。



オーケストラをバックに合唱する宇野さん



表紙の題字「あんぱち」は

かどたるか
中央こども園 **門田 琉花** さん
うめ組 の作品です

町村議会広報クリニックを受講しました

7月10日(水)、議会だより編集委員が全国町村議会会館（東京都内）で、広報クリニックを受講し、「あんぱち議会だより」の添削・指導を受けました。町民に分かりやすい議会だよりを目指しました。



◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

この議会だより78号の表紙を見ていただいて気が付かれた人も多いと思います。題字「あんぱち」を認定こども園元年とも言える今年度から、園児の字も加え、さらに温かみのある議会だよりになるよう園児に書いていただきました。こども園は教育的な部分を少し取り入れ、小学校へスムーズに移行できるようにする目的で始めました。このような字が書けることを町民の皆さんに見ただけの場づくりも大切に思い、この企画を始めました。「身近な議会だより」に近づけた一歩だと思っただけであれば幸いです。

(岩田 譲治)

◆◆◆ 編集委員 ◆◆◆

委員長 岩田 譲治
副委員長 西松 幸子
小川 文雄
碓井 昭夫

紙面の都合上、全議論を掲載できませんので、抜粋しています。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

TEL **0584-64-4931**

FAX **0584-64-5011**

E-mailでも受け付けています。
gikai@town.anpachi.gifu.jp